



つボイノリオさん、小高直子さんと
一宮西病院のドクターによる健康対談企画

健康のつボ!

【聞き手】つボイノリオ(タレント)、小高直子(CBCアナウンサー)
【解説】たつみ一郎医師(一宮西病院)



解説

一宮西病院
整形外科部長
著書
『100年足腰』
(サンマーク出版)

たつみ いちろう
異 一郎 医師

ひざ関節の痛みについて

日本人の多くのご高齢の方が悩んでいる「ひざ関節」の痛み。手術だけではなく「切らずに治す保存療法」に力を入れている整形外科医・一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生にお話を伺います。

第10回

人工関節手術について

小高 ひざ関節痛について第10回!お話を伺うのは一宮西病院・整形外科部長のたつみ先生です。

つボイ 私たちの周りにも、本当に膝が痛くて歩けなかつたり、立ったり座ったりするのに不自由を感じてる人って、多いんですね。そして人工関節手術をした人も、結構多いですよ。

小高 その人工関節手術、前回はそもそも人工関節とはどういうものなの?っていうことをたつみ先生に教えていただきました。で今回は、その人工関節を取り付ける「手術」についてのお話です。

つボイ 人工関節の手術には、関節すべてを置き換えるという「全置換術」と、軟骨のすり減った片方だけを置き換える「半置換術」、こういうのがあるらしいですね。

小高 全置換術と半置換術、それぞれの手術はどんな時に選択されるんでしょうか?

たつみ ひざっていうのは骨と骨が合わさってるんですけどね、その間に(骨と骨をつないでいる)靭帯というのがあるんですよ。5本あるんですよ。内側靭帯、外側靭帯、で、真ん中に前十字靭帯、後十字靭帯というクロスした靭帯があって、で一番前に大腿四頭筋があって、お皿がついて、膝蓋腱(しつがいけん)があって、これが一番でかいんですけど、この5本があるんですよ。これを切らんとやれる方法が、半置換術というのがあるんですよ。

小高 半分置き換えるという半置換?

たつみ そう、ひざの半分だけを人工関節に置き換える。

る。これのほうが自然な感じがする、とおっしゃる患者さんも多いです。特に真ん中にある前十字靭帯、後十字靭帯というのは、クロスしてるとですね。足ってグーって伸ばしたら、下腿(かたい)は外側へクルッと回るんですよ。15〜30度くらい。で今度グーって曲げてきますでしょ、ほいだら下腿は、内旋っていつて内側に30度くらい回るんですよ。

小高 カタイ?

たつみ 下腿っていうのは、ひざから下のこと。やわらかいちゃう、かたい(笑)。そういうのが、十字靭帯のねじれで起こるわけですよ。だからこれを残すことで患者さんは自然なひざであると体感します。全置換の多くは真ん中の靭帯を切るの、術後の感じが蝶番(ちょうぼう)が、みたくて言う患者さん

がおります。その回旋が起こりにくいから。回旋を起こす筋肉はほかにもいろいろあるんですけど、自然に近い、内側の悪いとこだけを治してるから、神さんのつくったひざに近い状態が再現できる。それが半置換。半分だけ人工関節。

つボイ ということはまず、(症状が)軽い方はまず半置換で、やるっていうことですか?

たつみ って、学会では言われていたんですけど、(症状が)重い人でも、靭帯が残ってれば、僕は積極的に半置換をやっているんですよ。

つボイ でもやっぱり負担は少ないので、半置換のほうが良い?

たつみ 全部取って全置換で人工関節に入れ替えた方が失敗は少ないでしょう。せやけど、患者さんに自然な感じを残そうとすると……っていうところですね。

小高 ちよっと専門的な言葉、医療用語みたいのが出てきましたけど。

つボイ 可能な限り靭帯を傷つけずに手術することで、患者さんは術後、前の通り自然な動きが保たれるとい

う、そういうことなんです。うね。

小高 症状の重いとかが軽いとかもそうなんですけども、お医者さんからしても、全置換のほうが失敗は少ないっていうのもあるんですけどね!とも仰ってますね。

つボイ でもたつみ先生は「自然な感覚を損なわないように、難しい手術にも挑戦していると、いうことなんじゃないかな」

小高 次回も引き続き、この全置換術と半置換術についてのお話です。「健康のつボ」ひざ関節痛について、「一宮西病院・整形外科部長のたつみ一郎先生でした。」

膝の痛みでたつみ医師の外来受診を希望される方(初診)は、完全予約制となります。

【対象患者さま】①初診の方 ②膝の痛みを診てほしい方
詳しくはこちらまでお問い合わせください。

→予約専用ダイヤル TEL.0586-48-0026
受付時間:平日/9時~17時、土曜/9時~12時

次回折込は1月19日(水)を予定しております。ご期待ください。

※折込日は予告なく変更になる場合がありますのでご了承ください。